

「いざ!」に備える



安全安心防災メール

6月から10月ごろまでは、集中豪雨や台風などによって河川が増水しやすい「出水期」です。この時期は、全国的にも大雨に伴う土砂災害などが増加します。

四日市市では、防災情報などを携帯電話やパソコンにメールで送信する「四日市市安全安心防災メール」を行っています(登録料無料)。まだ登録されていない人は、この機会にぜひ、ご登録ください。

四日市市安全安心防災メール

登録はこちら
t-yokkaichi-city@sg-m.jp
※空メール送信による登録



家族防災手帳

防災に関する情報は、平成27年8月に全戸配布した「家族防災手帳」も参考にしてください。

新たに必要な場合は、危機管理室(☎354-8119 FAX350-3022)、または、各地区市民センターへお問い合わせください。

<掲載内容>

- 本市の過去の災害
- 防災・減災の取り組み
- 地震や風水害などが発生したときの対策
- 避難する際の留意点
- 市から発信するさまざまな防災情報の入手方法 など



あらゆる災害は、ある日、突然やってきます。

いざその時が来たら、あなたは適切に行動できますか。

「自分は大丈夫」「四日市は大丈夫」と思っていないですか。

毎日の備えが、明日へつながります。

大切なのは、日ごろの備えです。

ちゃんねる
連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

- 地デジ12ch(CTY)
- 6月21日(木)～30日(土)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

避難情報

市では、災害発生の恐れがある場合、市民の皆さんに「四日市市安全安心防災メール」や「防災行政無線」など、さまざまな方法で避難情報を提供します。

大切な生命を守るため、テレビやラジオなどの情報のほか、市からの情報を積極的に取得し、適切な避難行動をとりましょう。

緊急告知ラジオはきちんと作動しますか?

■チェック方法

毎月第3木曜日
12:55に、エフエム

三重からの自動起動音とともに防災情報「防災よっかいち」を放送しています。この放送が自動で放送されない場合は、電源および電波状態をご確認ください。

上記のチェックを行っても放送が自動で流れない場合は、危機管理室(☎354-8119)までお問い合わせください。



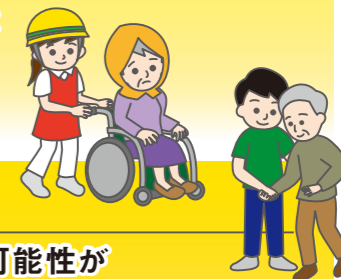
☑命を守る行動

命を守る行動とは、避難所へ移動することではありません。外へ避難することが危険な場合は、自宅の2階など、より安全な場所へ行くなど、一人ひとりが状況を見て、一番安全だと思う避難行動をとりましょう。

避難準備・高齢者等避難開始

人的被害が発生する可能性が高い場合

避難に時間がかかる人は避難を開始してください。



避難勧告

人的被害が発生する可能性が明らかに高い場合

通常の避難行動ができる人も避難を開始してください。



避難指示(緊急)

人的被害が発生する可能性が非常に高い、または人的被害が発生した場合

至急避難を完了するか、避難をしていない人は、

最低限、**命を守る行動**をとってください。



低

危険度

高

防災行政無線

災害発生時に、市内119カ所のスピーカーから「防災行政無線(サイレン・音声放送)」で、避難・災害情報を放送します。

うまく聞き取れなかった場合

自動電話応答で、音声放送の内容を確認することができます。

☎351-4004

緊急時の避難行動

「避難行動」とは、数分後から数時間後に起きるかもしれない自然災害から身を守るための行動を意味します。自分の住んでいる場所の危険度によって避難行動は変わります。

河川決壊による浸水や土砂災害などの危険箇所を防災マップなどで確認し、避難所への移動や自宅の2階への避難など、状況に応じた、また、自分に合った避難行動をとってください。



避難所への移動



安全な場所への移動

(親戚や友人の家など)



近隣の高い建物などへの移動



建物内での安全な場所への退避

(2階など)



危険度に応じ、日ごろから避難先を決めておけば、「いざ!」というときにすぐ避難できるね!

そのためには、日ごろの備えが大事だよ!

防災マップはこちらからご確認ください



防災行動

3つの助

自助

共助 公助

自助

(自分で自分を守る)

防災の基本は、「自助(自分のことは自分で助ける、自分の命は自分で守る)」です。災害が起きたとき、まず自分が無事であればなりません。

自分で自分を守るためには、事前の備えが必要です。

- 住宅の耐震補強
- 家具の転倒防止対策
- 緊急避難グッズや非常食 など、災害時に必要なものを備えておきましょう。

すぐに持ち出せるようにかばんなどにまとめておくといいね!

自宅に常備しておくもの

- 食品 [約7日分(レトルト食品、缶詰、調味料、スープ、味噌汁など)]
- 水 [約7日分(1人当たり1日3リットル)]
- 簡易食器(割り箸、紙皿)
- 毛布、寝袋など
- 洗面用具
- カセットコンロ、燃料など
- 鍋、やかん
- 簡易トイレ

ライフラインの停止

水道や電気などのライフラインの停止は、長期に及ぶ可能性があるよ。ライフラインが復旧するまでの数日間を自力で生き抜くために、必要なものを常に自宅に準備しておこう!



非常持ち出し袋に入れておくもの(一例)

- | | |
|----------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 非常食 | <input type="checkbox"/> タオル |
| <input type="checkbox"/> ロープ | <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 |
| <input type="checkbox"/> 下着類、衣類 | <input type="checkbox"/> 缶切り、栓抜き |
| <input type="checkbox"/> 洗面用具 | <input type="checkbox"/> マッチ、ライター |
| <input type="checkbox"/> 雨具(カッパ) | <input type="checkbox"/> 救急医薬品(常備薬、持病薬など) |
| <input type="checkbox"/> 予備の電池 | <input type="checkbox"/> お薬手帳 |
| <input type="checkbox"/> ろうそく | <input type="checkbox"/> 携帯電話用充電機、充電器 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> ビニール袋 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ | <input type="checkbox"/> 貴重品(現金、保険証など) |

■家族構成によって必要なもの

- 粉ミルク、哺乳瓶
- 紙おむつ
- 予備の眼鏡
- 生理用品
- 高齢者や障害者のための準備品(入れ歯など)



☑家族構成によって必要なものは違う

子どものいる家庭では、他にも、おやつやおもちゃ、子どもサイズの靴なども備えられるといいね。自分の家族構成を改めて見直して、必要なものを準備しよう!



共助

(地域で助け合う)

自分や家族だけでなく、自治会などの地域コミュニティ単位で助け合い体制を構築し、災害発生時に実際に助け合うことです。

普段から地域のつながりを大切に、助け、助けられる環境を作りましょう。

☑ 防災訓練

住んでいる地域によって特性があり、それぞれに必要な防災活動も変わります。自分が住むまちの特性をよく知って、災害発生に備えるため、防災訓練に参加しましょう。

防災訓練の日程などは、地区市民センターが発行するセンターだよりなどでお知らせしています。



市民総ぐるみ総合防災訓練
(平成29年9月 川島小学校)

参加しよう!



平成30年度
市民総ぐるみ
総合防災訓練

日時 / 平成30年8月下旬
詳しくは、広報よっかいち
7月下旬号でお知らせします。

公助

(行政による救助・支援)

国や地方公共団体が、住民の生命・財産の安全を図ることです。

<公助の一例>

- 救助活動
- 避難所開設
- 物資の支給
- 仮設住宅の建設
- 減災の取り組み

☑ 減災

被害を減らすことを「減災」というよ。国や地方公共団体は、減災のために、避難所の指定や公園などの一時避難場所の整備、建物の耐震化工事に対する助成金の支給、災害情報の周知・徹底などの取り組みを行っているんだ。いつか起こる災害に備えて、事前の対策が大事だね!



救助隊ラブ



土砂災害の危険箇所の確認を!

平成30年4月、大分県で土砂崩れが発生し、人命が失われたのは記憶に新しいところ。土砂災害の多くは、雨によって発生します。本市でも、過去には大雨や台風によって多くの土砂災害が発生しています。

土砂災害が発生しやすい出水期。改めて、家の近くなど土砂災害の恐れがある箇所を確認しましょう。

三重県土砂災害情報提供システム

HP <https://www.sabo.pref.mie.jp/>



土砂災害への安全対策

- 崩れそうなところは石積みなどで補強する
- 雨水の浸透をできるだけ防ぐよう、ビニールなどで覆う
- 不安定な岩は取り除くか、落下防止の補強をする
- よう壁には水抜き穴をつくる など

北消防署北部分署、運用開始!

消防車および救急車の現場到着時間の短縮に向けて整備を進めてきた北消防署北部分署(中村町)の運用を、4月1日(日)に開始しました。この北部分署には、屋上ヘリポートや拠点防災倉庫も併設されていて、「災害時の備え」のさらなる充実を図っています。



現場到着時間の短縮に向けて

北部分署の運用開始により、火災出動や救急活動における現場到着時間のさらなる短縮を目指します。

● 消防署所および消防分団の配置図



命と暮らしを守るために



みんなで災害に備えよう!

編集後記

台風や土砂崩れ、地震など、災害は決して他人事ではなく、今この瞬間にも身の回りに起こるかもしれない脅威です。「自分は大丈夫」という過信を、「自分は大丈夫?」という確認に変え、いつ起こるか分からない災害への備えを万全にしましょう。この特集が、皆さんの防災への意識を高めるきっかけになれば幸いです。

(危機管理室 小林、消防本部総務課 川瀬、広報マーケティング課 服部)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

危機管理室 ☎354-8119 FAX350-3022

消防本部 総務課 ☎356-2002 FAX356-2016

広報マーケティング課 ☎354-8244 FAX354-8315